

保護者の皆様へ 学校行事や朝会等で行う校長講話について、各ご家庭でも話題にしていただけたらという思いから「校長室だより（さわら）」という形でお伝えします。今年度から、印刷して配布する方法から本校のホームページでお伝えする方法に変更をしました。どうぞよろしくお願いいたします。

6月17日 全校朝会での講話

昨日は暑くなりました。東京でも30度を超えて、各地で真夏日を記録しました。日差しも強く、いよいよプールが恋しい時季になりました。井口小学校のプールは、今朝、水温22度でした。少し低めですが、条件がそろえば明日から「プール指導」が可能です。今日はプールについての話です。

プールは私たちにとって大変身近な施設です。北は北海道から南は沖縄まで、日本中どここの学校に行ってもプールはあるし、夏になればコミセンのように近所のプールで泳ぐこともできます。しかし、日常的にプールで泳げるというのは、世界的にみると、大変珍しいことです。外国に行くと、授業で水泳を行う国は少ないし、そもそもプールのない学校のほうが圧倒的に多いです。また、スイミングスクールにかよっているお友達は多いと思いますが、日本ほどスイミングスクールの多い国は他にありません。私たちが小さいころからプールに親しめるのは、日本が、雨が多く、水が豊かな国だからです。水泳が好きな人にとっては大変恵まれた環境だということができます。

とはいっても、水泳は大嫌いという人もいるでしょう。水の中で目が開けられない、息継ぎができなくて苦しい、いくら水をかいても沈んでしまう、水が苦手な人にとってプールの時間は気が重いことと思います。そんな人には、魔法の道具、ビート板をおすすめします。なんだ、ビート板か・・・とバカにははいけません。夏の間、1日10分間でいいので、ビート板をもってバタ足をやってみましょう。はじめは足が沈んですぐ立ってしまったり、全然進まなかったりするかもしれませんが、それでも毎日続けます。「継続は力なり」です。そうすれば、夏の終わりのころには、きっと25メートル泳げるようになっていとおもいます。ぜひ挑戦してみてください。

明日、皆さんがプールに入る前に「プール開き」を行います。そして「今年度も事故やケガが無いように、楽しいプール指導ができますように・・・」と水の神様にお祈りをします。水泳は、健康づくり・体力づくりに大変効果的なスポーツです。今年もプールの授業を通して丈夫な身体をつくりましょう。終わります。